

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会  
2019年度事業計画

2019年度(2019年4月1日～2020年3月31日)は日本アメリカンフットボール協会(JAFA)にとって公益社団法人としての第7期となる。協会運営体制を整備し、定款・規則・規程に則った協会運営を進めて行く。

1) 日本スポーツ協会公認指導者養成事業

定款第5条第1項第1号に関連する事業として、公益財団法人日本スポーツ協会(JSPO)が主催する公認スポーツ指導者養成事業の一つとして、日本スポーツ協会からの委託に基づいてアメリカンフットボール競技に関する公認コーチ資格の専門科目講習会を開催する。

公認指導者養成講座の専門科目のためのテキストとして、昨年度は「ショルダータックリング」と「ヘッズアップ・ブロッキング」を発行したが、今年度は「オフENSEIB・ドリルブック」、「ディフェンシブ・ドリルブック」ならびに「からだづくりハンドブック」を発行し、指導者向けのテキストを充実して行く。

更新時期を迎える公認コーチ資格保有者に対する義務研修を計画的に開催するとともに、資格保有者に対して義務研修の受講を促す。

2) コーチクリニック、フットボール教室

定款第5条第1項第1号に関連する事業として、コーチクリニック、フットボール教室を開催する。

重大事故を未然に防止し、選手の安全を守る観点から、公認指導者養成講座専門課程のテキストとして発行した「ショルダータックリング」ならびに「ヘッズアップ・ブロッキング」をコーチクリニックやフットボール教室で活用し安全なアメリカンフットボールをめざした活動を継続していく。

また、日本代表チームのコーチを中心とするアカデミーコーチングスタッフにより、ユースならびに高校生、あるいは大学入学後に初めてフットボールを始める選手たちを対象にした「からだづくり」プログラムも並行して進めていく。

「JAFA フットボールアカデミーキャンプ」を実施する。開催予定は以下のとおりである。

- ・2019年5月12(日):フレッシュマンクリニック(関西学生連盟)
- ・2019年6月1日(土):ヘッズアップアカデミー(東北学生連盟)
- ・2019年6月:ヘッズアップアカデミー(関東学生連盟)
- ・2020年3月:ヘッズアップアカデミー(北陸学生連盟)
- ・2020年3月:ヘッズアップアカデミー(東海学生連盟)
- ・2020年3月:ヘッズアップアカデミー(九州学生連盟)
- ・2020年3月:ヘッズアップアカデミー(中四国学生連盟)

また、重大事故を未然に防止することを目的に、JAJFA が監修、発行した「安全対策ハンドブック」を活用し、全国加盟チーム指導者へ向けた安全対策セミナーを実施する。

昨年 5 月に大学アメリカンフットボールチームの定期戦で発生した「悪質タックル」が社会問題化したことを受けて、昨年度社員総会において「フェアプレイ宣言」を採択するとともに、ガバナンス強化の一環として「スポーツマンシップを身に付け、競技の場においてフェアプレイを実践する」ことを目標としてフェアプレイWGを発足したが、2019 年度はフェアプレイWGの活動を全国の加盟団体とともに推進する。

※「JAJFA フットボールアカデミー」は日本スポーツ振興センターのくじ助成を受けて実施します。

### 3) 川崎市のまちづくり推進とアメリカンフットボールの普及活動

定款第 5 条第 1 項第 1 号及び第 1 1 号に関連する事業として、2006 年に締結した川崎市との協定に基づき、川崎市のまちづくり推進連絡協議会に参加し、アメリカンフットボールを活用した川崎市のまちづくりと、川崎市におけるアメリカンフットボールの普及発展に努める。

川崎富士見公園内に川崎市が 2 年の歳月をかけて建設してきた「富士通スタジアム川崎（旧川崎富士見球場）」の観客席が 2015 年 3 月に完成し、同 4 月からアメリカンフットボール準専用スタジアムとして運用開始された。アメリカンフットボール関連競技団体及び指定管理者との協力体制のもと、富士通スタジアム川崎で開催するアメリカンフットボールの試合に多くの観客を集めるとともに、川崎市商工会議所や川崎駅広域商店街連合会の協力を得て、アメリカンフットボール（フラッグフットボール含む）を市民スポーツとして定着させるべく努力する。

川崎市民にアメリカンフットボールを知ってもらうための普及・PR 業務を川崎市からの受託業務として実施する。

### 4) 大規模災害復興支援に関する事業

定款第 5 条第 1 項第 1 号、第 1 2 号に関連する事業として、大規模災害が発生した地域に対して、アメリカンフットボールを通じた復興支援事業を加盟団体と連携して行う。

### 5) アメリカンフットボール日本選手権「ライスボウル」の開催

定款第 5 条第 1 項 3 号に関連する事業として、アメリカンフットボール日本選手権「第 7 3 回ライスボウル」を主催する。アメリカンフットボールファンのみならず、競技で随一の知名度を誇るボウルゲームとして、今後ともファンに楽しんでもらえる日本選手権として定着させていく。

また、フラッグフットボール日本選手権、および地区大会を主催する

## 6) 高校生連盟・中学生連盟の主催試合等に対する後援ならびに助成

定款第5条第1項第3号に関連する事業として、高校生連盟や中学生連盟が主催する試合（日本選手権、選抜チーム対抗戦など）を後援する。

高校生連盟に対しては、2018年度に引き続きクリスマスボウル（全国高等学校アメリカンフットボール選手権）と、ニューイヤーボウル（関西高校連盟選抜・関東地区選抜対抗戦）を後援、助成し、加えてパシフィック・リム・ボウル（関西高校連盟選抜米国遠征）、TOMODACHI BOWL（関東 U-19 選抜 対 在日米軍高校選抜）の後援、助成も行う。中学生連盟に対しては、情報共有を図りながら、幅広く活動を支援する。

## 7) 国際試合の主催・後援

定款第5条第1項第4号に関連する事業として、以下の国際試合を後援する。

### ・第9回 TOMODACHI BOWL

対戦：米軍基地内ハイスクール代表チーム vs U-19 日本選抜チーム（関東主体）

主催：一般社団法人関東学生アメリカンフットボール連盟

主管：一般社団法人関東学生アメリカンフットボール連盟

後援：公益社団法人日本アメリカンフットボール協会

日程：2020年3月

会場：未定

## 8) 国際試合へのチーム派遣

定款第5条第1項第4号に関連する事業として、IFAF等が主催する国際試合に日本代表チームを派遣する。

本年度予定されていた第6回 IFAF 世界選手権（オーストラリア開催）が延期になったことに伴い、日本代表チーム強化試合として国内練習の後、米国遠征を実施する。

### ・日本代表チーム強化試合

日程：2020年1月中旬

会場：アメリカ合衆国テキサス州

対戦：日本代表チーム 対 アメリカ大学選抜（詳細未定）

主催：USA Football

## 9) 国際競技力向上に向けた取り組み

定款第5条第1項第4号に関連する事業として、各世代の有力選手を集め、技術力向上を目指しクリニックを開催する。その中から、それぞれの世代で日本代表候補選手を選出し、国際大会へ向けたチーム作りに取り組む。

① インターナショナルボウル2020（世代：18歳以下）

2020年1月にアメリカ合衆国テキサス州で開催されるインターナショナルボウルに、高校3年生を主体としたU-18日本選抜チームを派遣し、アメリカの熟練コーチの指導による強化キャンプを経て、同年代のアメリカ選抜チームと試合を行う。アメリカチームとの試合を体験させることにより国際競技力の向上を図るものである。

また、強化キャンプ及びインターナショナルボウルには通訳コーチに加えて高校指導者を派遣しアメリカの熟練コーチから指導方法を習得する機会とする。

- ・2019年7月24日（火）：インターナショナルボウル キャンプ（関西地区）
- ・2019年7月27日（金）：インターナショナルボウル キャンプ（関東地区）
- ・2019年12月1日（土）：インターナショナルボウル キャンプ（関西地区）
- ・2019年12月2日（日）：インターナショナルボウル キャンプ（関東地区）
- ・2020年1月中旬：アメリカ遠征、  
5日間の強化キャンプの後、インターナショナルボウルに出場してアメリカ選抜と試合する。

② IFAF主催U-19世界選手権2020に向けた選手選抜（世代：19歳以下）

2020年7月に開催されるIFAF主催U-19世界選手権に派遣するU-19日本代表チームのトライアウトを行い選手を選抜する。選手の選抜指導は、日本代表チーム編成委員会が推薦しJAF A理事会が選任したU-19日本代表チーム監督ならびにコーチングスタッフが中心になって行う。

- ・2020年3月 U-19日本代表トライアウト（関東地区）
- ・2020年3月 U-19日本代表トライアウト（関西地区）

③ FISU主催世界大学選手権2020に向けた選手選抜（世代：大学生）

2020年6月に開催されるFISU世界大学選手権に派遣する大学日本代表チームのトライアウトを行い選手を選抜する。選手の選抜指導は、日本代表チーム編成委員会が推薦しJAF A理事会が選任した大学日本代表チーム監督ならびにコーチングスタッフが中心になって行う。

- ・2020年3月 大学日本代表トライアウト（関東地区）
- ・2020年3月 大学日本代表トライアウト（関西地区）

※「国際競技力向上に向けた取り組み」は日本スポーツ振興センターのくじ助成を受けて実施します。

10) 国際試合への審判員の派遣

定款第5条第1項第4号に関連する事業として、IFAFが主催する国際試合に審判員を派遣する。2019年度は2020年度に予定されている世界選手権に向けた大陸予選に、主催者の要請に

応じて審判員を派遣する予定である。

#### 1 1) 競技規則の制定・告知・頒布

定款第5条第1項第5号に関連する事業として、競技規則委員会（2019年6月開催）の決定に基づき、アメリカンフットボール競技の2019年度公式規則について、2018年度公式規則からの変更について加盟団体に周知する。

#### 1 2) 医科学研究会

定款第5条第1項第6号に関連する事業として、フットボールシーズン終了後（2020年2月）に医科学研究会を開催する。アメリカンフットボールに密接に関連する医科学分野の医師、トレーナー、指導者が一堂に会して、当該年度に発生した重大事故、医科学分野における新たな知見等の情報を持ち寄って、選手の安全確保のための情報共有、意見交換を行う。また、加盟競技統括団体の所属チームに外傷報告書を提出してもらい、安全対策委員会においてデータを集計し、得られた知見については医科学研究会で報告する。

#### 1 3) ドーピング検査

定款第5条第1項第6号に関連する事業として、三大ボウルゲーム（甲子園ボウル、ジャパニエックスボウル、ライスボウル）においてドーピング検査を実施する。ドーピング検査は、専門機関である日本アンチ・ドーピング機構に委託して行う。

※「ドーピング検査」は日本スポーツ振興センターのくじ助成を受けて実施します。

#### 1 4) アンチ・ドーピング講習会

定款第5条第1項第6号に関連する事業として、アンチ・ドーピング講習会を開催する。多くの指導者、選手はアンチ・ドーピングの主旨は理解しているものの、禁止薬物に関する知識、持病等で処方を受けている薬物の事前申請（TUE）、居場所情報提出などの手続きなどについて十分な知識を有しているとは言い難く、啓蒙活動の一環として、2019年10月～11月にかけて関東、関西の2会場でアンチ・ドーピング講習会を開催する。

#### 1 5) 受講者推薦（日本スポーツ協会公認スポーツドクター及びアスレティックトレーナー養成講座）

定款第5条第1項第6号に関連する事業として、日本スポーツ協会が主催するスポーツドクター養成講座、及びアスレティックトレーナー養成講座の受講生を推薦する。安全対策委員会、医

科学部会が、受講希望者の中から日本スポーツ協会の受講者選考基準に合格するものを選考して推薦する。

#### 1 6) アメリカンフットボールに適した競技場の設置促進

定款第5条第1項第7号に関連する事業として、あらゆる機会をとらえて、国、地方自治体その他の競技場または競技場用地所有者に対して、アメリカンフットボールに適した競技場の設置促進を働き掛ける。

#### 1 7) NCAA 公式規則変更に関する会議等への競技規則委員派遣・参加

定款第5条第1項第8号に関連する事業として、全米大学体育協会（NCAA：National Collegiate Athletic Association）の公式規則変更、公式規則適用の状況を確認にかつ迅速に把握するために、米国 CFO（College Football Officiating LLC）が主催するフットボール・コーディネーター・ミーティングに競技規則委員を派遣する。

・派遣時期 フットボール・コーディネーター・ミーティング：2020年1月

また、上記に関連し今年度はナショナル・レフェリー・カンファレンス、及びナショナル・インスタントリプレー・クリニックにも関係者を派遣する。

・派遣時期 ナショナル・レフェリー・カンファレンス：2019年4月

ナショナル・インスタントリプレー・クリニック：2019年5月

#### 1 8) WEB サイトによる情報発信

定款第5条第1項第9号に関連する事業として、Jafa 専用 WEB サイトを活用して、Jafa 及びアメリカンフットボールに関する情報を発信する。

Jafa 公式 WEB サイト運用の充実と共に、今年度はライスボウル、日本代表、Jafa アカデミーなどのページをさらに充実させる。本協会の公報としての役目を果たすために WEB サイトを活用した情報公開を実施する。

#### 1 9) 殿堂顕彰

定款第5条第1項第10号に関連する事業として、今年度は5年毎の殿堂顕彰者の選考ならびに表彰を実施する。

#### 2 0) 関係団体・機関との情報交換・連携

定款第5条第1項第11号に関連する事業として、国際アメリカンフットボール連盟 (IFAF)、独立行政法人日本スポーツ振興センター (JSC)、公益財団法人日本スポーツ協会 (JSPO)、公益

財団法人日本オリンピック委員会（JOC）、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構（JSAA）、一般財団法人日本トップリーグ連携機構（JTL）、一般社団法人大学スポーツ協会（UNIVAS）など関係団体・機関と密に情報交換を行い、連携して活動する。

以上